

読書ボランティア紹介

あづま子どもの本の会（吾妻学習センター）

子ども読書推進のために

あづま子どもの本の会（福島市）

2月25日（木）訪問

登録人数

18名（H28.2現在）

創設年月

平成12年

活動場所

福島市吾妻学習センター及び分館、
保育所、幼稚園、小学校、中学校、高齢者施設

活動内容

よみきかせ、紙芝居、わらべうた、手遊び
すばなし、エプロンシアター、ブックトーク



これまで長年にわたり、図書に関わる活動を行ってきました。団体としての活動はもちろんのこと、所属しているメンバーの個々が多方面で活躍しています。同じ市内の読書ボランティア団体さんからも頼りにされる存在です。

訪問している小学校はクラス数が多いため、学年毎に分けてひと月に複数回訪れています。その他にも多くの場所で定期的によみきかせを行うなど、活動機会に恵まれています。対象となる構成年齢が幼児から高齢者までと幅広く、また割り当ての時間が活動場所により異なりますが、メンバーが各自選書、準備に十分時間を掛けて対応しています。

活動の実際

訪問当日は「おひざにだっこのおはなしかい」が行われていました。会が始まる前に泣き出してしまう幼児もいましたが、ボランティアさんがぬいぐるみを用いて優しく対応していました。それを見ていた周囲の幼児もまた笑顔となるなど、大変穏やかな雰囲気でおはなしかいがスタートしました。プログラムは1.手遊び、2.よみきかせ、3.わらべうた、4.紙芝居、5.よみきかせ、6.わらべうた、7.ブックトーク、8.わらべうたでした。手遊びやわらべうたといった参加型のプログラムが取り入れられていたため、乳幼児であっても飽きる事無く最後まで楽しむことができていました。よみきかせにおいては反復法を用いた繰り返しの言葉やオノマトペに対し、声を上げて喜び笑顔を見せるなど、絵だけでなく文を楽しんでいることが確認できました。これも対象者を考慮した選書と、聞き心地の良い読みがあってこそだと実感しました。

最後に本日使用した本と、それに類似する本が紹介されテーブルに並べられました。さっそく本を読み始める子、親子で相談しながら本を選び、貸し出し手続きを行う姿が見られました。

